



時代の変化に対応する

小湊小校長 池野 吉寿

みなさんもこう感じているのではないのでしょうか。
「今年の暑さは異常！」だと。

例年より早い梅雨明けはもとより、梅雨を含めて雨がかなり少なく感じました。

降ってほしくない時に大雨になり、降ってほしいときに日照りが続くという状況で、農業用水の断水も相まって様々な影響がいろいろなところで出ていたように感じます。

今後も暑い日が続くことが予想されます。体調管理はもとより、外での作業をされる皆さまにおかれましては、改めて申すまでもございませんが十分な休憩、水分補給を取り、熱中症対策をお願いします。

さて、私たちが中学生だったころに遡ると、こんな教えがあったことを記憶しています。

「部活中は水を飲むな！バテる」と。

水を飲むとバテると考えられていたのには下記の理由があったそうです。

- ① 水を飲むことで身体の体温が下がる。
- ② 水を飲むとおなかがたぷたぷになるから。
- ③ 練習＝厳しくしんどいもの、水を飲むのは弱いから。甘ったれている。(根性論)

科学的根拠がなく、倒れるのは根性なしという考え方が広がっていました。

この考えは日本だけでなく、欧米でも同様の考え方だったようですが、今から約60年前、米国のアメリカンフットボール選手が相次いで熱中症の症状で亡くなりました。これを機に、水分補給が当たり前になり、アイソトニック飲料が「ゲータレード」と名付けられ発売されました。これが世界で初のスポーツドリンクの始まりと言われていました。

日本では、大塚製薬のポカリスエット(80年)、サントリーのNCAA(81年)、コカ・コーラのアクエリアス(83年)が液状タイプのスポーツ飲料を発売、今では多くの種類が発売されています。



夏休み中に、海や川などに出かけるが増えると思います。もう一つ、考え方が変わってきていることをお知らせします。

「水中に落ちたら『服と靴』を脱がないで！」ということです。その理由として

- ① 肌と衣服の間に人肌で温まった水が留まり、体温の低下を防ぎやすい。
- ② 衣類と体の間に空気が入り、一定の浮力を得ることにつながる。
- ③ 靴は水に浮きやすいので、浮力につながる。

以前は「手足が動かしにくくなる」との理由から、服は脱ぐようにと教えられていました。しかし今は、海面で待機するための体温の維持や浮力の確保が優先されているのです。

毎年、川や海での事故により、多くの命が失われています。出かけるときは保護者と一緒に、目の届く範囲で楽しく過ごしましょう。

最後に、社会教育学が専門の鹿児島大学法文学部の金子満教授は、近年の社会変動を意識しつつ、人口減少における「豊かさ」「幸せ」の基準を再吟味し、再構築する必要があると話しています。学校もこれまでの行事や活動について、今後検証し、連携を図りながら実施方法を考える時期に来ているのかもしれません。

「250万歩の旅」は、東京に無事到着し、その後、東北地方を目指し、7月31日には、栃木県宇都宮市を通過している見込みです。順調にいけば、8月20日頃には250万歩達成の予定です。がんばります。



校内水泳大会

7月8日(木)に、校内水泳大会を行いました。碁石拾いからスタートし、1年生のワニ歩きや輪くぐり、学年ごとに分かれて、17m・25m自由形に挑戦しました。最後は、全員リレーを行い、両チームとも力を合わせ、最後まで泳ぎました。

5月からの水泳学習では、児童一人一人が自分なりの目標を立て練習に取り組んできました。どの子も泳力を伸ばし、学年に応じた泳ぎができるようになりました。



島唄体験

7月11日(金)に、日置幸男さん、迫田寿恵さんを講師に招き、島唄体験を行いました。

「とっちぶるの歌」や「いきゅんにやかな」など、方言や歌詞の意味などの説明を交えて、三味線やオカリナに合わせて歌いました。方言の発音の仕方が難しそうでしたが、楽しく島唄に親しむことができました。



自分の命を守るために！

7月12日(土)に着衣水泳を実施しました。着衣水泳は、水難事故に遭った場合、自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいのか体験を通して学ぶことをねらいとしています。

まず、子どもたちは、衣服を着たまま入水し、「泳ぎにくい。」「体が重くて沈む。」と予想以上に重くなった衣服や動かしにくくなった手足に驚きの声を上げながら、服や靴を着けたままでの泳ぎにくさを体感しました。

もし溺れている人を見かけたら、子どもの力では救助できないので、自分たちで助けようとするのではなく、必ず大人を呼びに行くことを確認しました。

全国で水の事故が起きています。安全に気を付けて、楽しい夏休みを過ごしてほしいです。

家庭教育学級開級式・学校保健委員会

7月8日(火)に家庭教育学級の開級式と学校保健委員会を行いました。

家庭教育学級では、新役員の紹介や学習テーマ、年間計画の確認を行いました。家庭教育学級での取組を通して、親と子が共に成長できる機会となればよいと思います。

学校保健委員会では、ヤクルトオンライン出前講座ウン知育「おなか元気教室」を家庭教育学級と共催で開催しました。「早寝・早起き・朝ご飯・朝ウランチ」の大切さについて、腸のしくみや排便習慣の重要性、腸内細菌の働き等を学ぶことで、自分自身の食事や生活習慣を見直すきっかけになりました。「腸を丈夫にすることが健康に繋がる」ことを今後の健康づくりに活かしていきたいです。



8・9月行事予定



8月

13日(水)～15日(金)

学校閉庁日

21日(木) 出校日

※ 夏休み中も学校閉庁日以外は、職員が通常勤務しております。御不明な点は小学校までお問い合わせください。

9月(9月行事については、現時点の予定です。)

1日(月) 始業式 大掃除 安全点検

集団下校

2日(火) クラブ活動⑥

3日(水) 島口練習① PTA登校指導

5日(金) 海岸清掃 家庭教育学級

6日(土) PTA奉仕作業

10日(水) 八月踊り練習①

15日(月) 敬老の日

16日(火) 委員会活動⑤

17日(水) 八月踊り練習①

23日(土) 土曜授業 緑の時間(8:30～)

運動会準備②③

21日(日) 第78回秋季大運動会

小湊子どもといっしょに読書の日

22日(月) 振替休日

23日(火) 秋分の日

26日(金) スクールカウンセラー来校

29日(月) 校区内清掃

※ 学力向上タイム 20日(土)・29日(月)

※ 行事予定については、安心安全メールでも配信しておりますので、御活用ください。

※ 通常校時の下校時間は下記のとおりです。

5時間授業 14時45分

6時間授業 15時30分

